

アフリカにおける廃棄物管理プロジェクト形成促進事業



【令和6年度補正予算（案） 1,000百万円】

廃棄物管理事業の形成促進を通じた我が国循環産業の国際展開のための環境の整備と質の高いインフラ輸出の実現により、アフリカ諸国における適正な廃棄物管理を実現します。

1. 事業目的

グローバルサウスの中でも特にアフリカは、廃棄物管理インフラの未整備に起因する公衆衛生問題の改善が喫緊の課題。ACCP(※1)加盟国・都市の廃棄物管理事業を形成するプログラムを設立し、TICAD(※2)の枠組みも活用しつつ世界銀行等の資金を活用した循環インフラ整備プロジェクトを増加させ、我が国の質の高い循環インフラの輸出推進につなげる。

2. 事業内容

- 人的資源及び事業提案能力不足等により廃棄物管理インフラ整備が進んでいないアフリカ諸国が世界銀行等国際資金も活用した廃棄物インフラプロジェクトを形成するためのプログラムを新設する。
- 具体的には、当該国・都市の廃棄物関連データの調査及び事業・資金スキームを検討するための予備調査を実施し、政府・自治体、ドナーとなる国際開発機関との調整を行い、プロジェクト提案書の作成支援を行うことで、国際開発機関等へのプロジェクト要請を促進する。
- ACCPと連携し、廃棄物管理プロジェクトの初期段階から支援することにより、各プロジェクトにおける我が国の廃棄物インフラ輸出機会を創出する。また、優良なインフラ整備事例を横展開し、我が国の民間企業のビジネス機会の拡大につなげる。

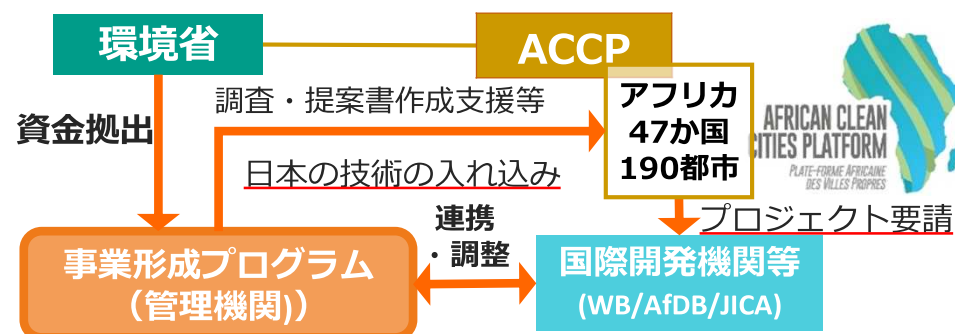
※1 ACCP：アフリカのきれいな街プラットフォーム

※2 TICAD：アフリカ開発会議

3. 事業スキーム

- 事業形態 拠出金
- 拠出先 国際機関
- 実施期間 令和6年度

4. 事業イメージ



廃棄物管理プロジェクト（\$100-150M/件規模）	
廃棄物管理のガバナンス体制の構築	
廃棄物管理法令整備 組織体制強化・運営等能力開発	
廃棄物インフラ整備	
収集運搬システム、分別・リサイクル施設	
廃棄物発電等中間処理施設	
メタン抑制(福岡方式)処分場等	

日本の優位技術

適正な廃棄物管理の実現